

アグリテック活用による サステナブルな畜産への変革

畜産からの温室効果ガス排出は、世界総排出量の14.5%*を占め、この削減は気候変動対策上喫緊の課題です。世界中でこの課題を解決するための政策立案、技術開発が行われ、DSM Bovaer®のように、飼料添加により反芻動物が排出するメタンを30%以上削減するような製品も開発されつつあります。本フォーラムでは、日本とグローバルにおける、畜産・酪農をサステナブルにするための技術、規制、農場での取組など、最新情報を元に、いかにその変革を加速できるか議論します。*Source: FAO



日時：2022年9月27日 | 14:00 - 16:30

場所：大手町プレイス カンファレンスセンター | 東京都千代田区大手町2-3-1

主催：DSM株式会社 | 後援：オランダ王国大使館 | 入場無料（日英同時通訳付）

協力：日本経済社「みどりの食料システム戦略」ビジネス研究会

14:00 - 14:05	開会挨拶	DSM株式会社 代表取締役社長	丸山 和則
14:05 - 14:10	来賓挨拶	農林水産省 大臣官房 みどりの食料システム戦略グループ長	久保 牧衣子 氏
14:10 - 14:15	来賓挨拶	東京農工大学 学長	千葉 一裕 氏
14:15 - 14:45	招待講演	(国研) 農研機構 畜産研究部門 高度飼養技術研究領域長	山崎 信 氏 「日本における畜産業からの温室効果ガス削減技術開発」
14:45 - 15:15	基調講演	Royal DSM, VP Bovaer, Mark van Nieuwland	「畜産からの温室効果ガス等の環境負荷削減とその評価、改善手法」
15:20 - 16:20	パネルディスカッション 「サステナブルな畜産への変革を加速するために」	モデレータ： 日本経済新聞社 パネリスト： 明治ホールディングス 山口畜産 オイシックス・ラ・大地 農林中央金庫 農研機構 Royal DSM	Nブランドスタジオ長 松岡 克紀 氏 サステナビリティ推進部 天沼 弘光 氏 常務取締役 獣医師 山口 聡 氏 経営企画本部 村田 靖雄 氏 食農法人営業本部 荒木泰武 氏 畜産研究部門 山崎 信 氏 VP Bovaer Mark van Nieuwland
16:20 - 16:30	閉会挨拶	オランダ王国大使館	農務参事官 Denise Lutz 氏

参加登録は下記リンクまたは右のQRコードよりお願いいたします。

<https://forms.office.com/r/S5TdNkH9eD>

プログラムに関するお問合せ | DSMサステナビリティ経営フォーラム事務局 | Email : communications.japan@dsm.com

